令和4年度　カントリーミーティング（中国・近畿ブロック）

オンライン開催要項　【担当地：和歌山県】

開催趣旨：

２０年間に亘って現場の声を集積し、課題に向き合ってきた「21世紀委員会・カントリーミーティング」。これまで高齢者施設・事業所や全国老施協・各県老施協で活躍する人材を輩出するなど大きな役割を果たすとともに、介護現場を担う若い職員がつながり、自由闊達な意見交換ができる場として定着しております。

しかしながら、時代の流れとともに、２１世紀委員会の活動目的や求められる成果等が大きく変わってまいりました。

そのため、全国２１世紀委員会では、ミッションを“次世代を担うリーダーの育成”とし、重点課題として「人材育成・ネットワークの構築」、「２１世紀委員会の組織強化」を掲げ、その在り方や事業の見直しを行ってまいりました。

今年度のブロックカントリーミーティングは、過去２年間に実施した評価を踏まえ、オンラインにて計４回開催することといたしました。分科会のプログラムは、昨年度同様、介護現場重視の姿勢と参加者が自由に意見交換し議論するというカントリーミーティングにおける醍醐味である中核部分を堅持しつつ、課題解決のための議論の手法を取り入れた未来型思考のパッケージとし、事業の連続性に配慮するとともに、さらなる「集合知」の拡大と、「“現場”に始まり、“現場”に戻る」ことを重視して展開してまいります。

2035年に突入することが見込まれている超・高齢者社会という危機的な時代を乗り切るため、斬新な発想で現場を牽引していくべき当事者である私たち21世紀委員会は、その若い力と熱意により、その自覚をもって取り組んでいきましょう。

（本カントリーミーティングの開催・運営について、参加者より出された意見や課題は、今後のカントリーミーティング運営や「アクティビティレポート」の作成等に活かしてまいります。）

１．主　　　催 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

２．期　　　日 令和5年2月22日（水）　１３：００～１８：００

3.開催方法 WEBによるオンライン研修となります。（全体講義とグループワーク）

Zoom 及び オンラインホワイトボード Miroを使用します。

４．参加対象 ➀都道府県・指定都市老施協の２１世紀委員会委員

　　　　　　　　　　 　※現在２１世紀委員会を設置されていない各県老施協の若手リーダーのみな

さまも是非ご参加ください。

　　　　　　 　 ➁学術機関（大学院、大学、専門学校など）の関係者及びその学生

　　　　　　 　 ➂産業（企業、地域の産業支援機関など）の関係者

　　　　　　　　 　　 ※多種多様な参加者が議論することによる「集合知」の拡大及び自施設や地

域における その後の展開等を効果として期待しています。

**５．参 加 費** ➀➁無料

　　　　　　　　 ➂全国老施協賛助会員：参加１人あたり5,000円

その他：参加１人あたり10,000円

**６. 締 切 日** 令和5年2月13日（月）

**７. 申込方法** 別紙「参加申込書」より、ご返信をお願いいたします。

　　　　　　　　　　産業界の申込みＵＲＬはこちら。https://questant.jp/q/GF8SK8BB

**８. 事前アンケート** Google Formより、ご回答をお願いいたします。 <https://docs.google.com/forms/d/1yLrAp5vk539cv0LNkMLz2AWyWtskPoYJw6j8ajThsQI/edit>

**９．プログラム**

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 内容 |
| **事前学習** | Zoom・ Miroの事前準備、Miroの使い方 事前学習の詳細は出欠確認後にお知らせいたします。  |
| 13：00～ 13：05 13：05～ 13：15 13：15～ 13：３０  | **挨 　　拶** （公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗） **趣旨説明** (公益社団法人全国老人福祉施設協議会 21世紀委員長 服部昭博)**基調報告** （公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 平石 朗）  |
| 13：３0～ 1３：４５ | 休　憩 |
| 1３：４５～　17：４５（２４０分）他、適宜休憩  | **ワークショップ** **テーマ：見たことも聞いたこともない介護現場の「移動」をガラリと変える方法****●説明・進行 広瀬 毅氏（慶應義塾大学システムデザイン マネジメント研究科（SDM））** ●**ファシリテーター （慶應義塾大学SDM １名）** ●TA(ティーチングアシスタント)・進行確認 (1グループ1名：全国21世紀委員会)●ワークショップ履修内容　　　　　　　　　　　　　　　〈進行の目安時間〉13:45～14:1014:10～14:2014:20～14:4014:40～15:0515:05～15:3015:40～16:2016:20～17:0017:00～17:3517:35～17:45・イノベーティブ思考のコツ・Miroの使い方・チームビルディング自己紹介、今日のテーマ・ブレインストーミング・親和図法～10分休憩～・強制連想法(マトリックス法)・CVCA(顧客価値連鎖分析)・プロトタイピング計画･各グループの最終アイデア発表

|  |
| --- |
| Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用し、全体講義とグループワーク(１グループ　6～８名程度)で進行していきます。 |

 |
| 17：４５～ | **閉会挨拶** （公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長 小泉立志） |

**10．準備物等**

**※ 受講にあたっては、**

**必須：モバイルWi-Fiではなく、Wi-Fi又は有線LANが整った環境からの接続でお願い致**

**します。**

**推奨：PC、タブレット等の端末を合計2台又はデュアルモニター（１台のPCで２つのモニタ**

**ーを使用）を準備願います。（スマホ以外でお願いします）**

**※ 本研修は**テレビ会議システムを利用した講義になります。**「Zoom」と「Miro（オンラインホワイトボード）」を使用します。**詳細は出欠確認後にお知らせいたします。

**【問合せ先】** 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会（担当：淺沼・大和田・荒川）

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル7Ｆ ℡ 03-5211-7700

***※運営要領***

**【企画・運営について】**

(１)カントリーミーティングの開催にあたっての具体的な企画及び運営については、開催ブロックまた県・市老施協に「カントリーミーティング実行委員会」を設置し、全国老施協21世紀委員会の作成する「開催要項骨子」（以下、骨子）をもとに、相互の協議により進めます。

（２）実行委員会には、全国老施協21世紀委員会等関係各所との連絡窓口として、実行委員から実行委員長を置きます。（※実行委員長及び委員の具体的な役割分担等については、全国老施協21世紀委員会と調整を図ります。）

（３）全国老施協21世紀委員会は、担当者としてブロック委員を置き、カントリーミーティング事業の円滑な推進に向けて、実行委員会との連絡調整を図ります。ブロック委員は進捗状況について常時、確認を行うとともに、全国老施協21世紀委員会にこれを報告する義務を持ちます。

(4)実行委員長はカントリーミーティングの企画・運営について、ブロック委員に進め方の照会を行います。

ブロック委員は実行委員会に出席し、骨子に基づいて方針の伝達と確認を行うとともに、不明点や懸案事項を全国老施協21世紀委員会に諮ることでこれに答えます。

（以下に記述の「実行委員会と全国老施協21世紀委員会の協議」については上記の手続きを指します。）

(5)その他、事務的事項については、実行委員会及び全国老施協21世紀委員会相互の事務局の連携・相談のもとで進捗します。

**【開催日程・定員等について】**

カントリーミーティングの開催日程、定員等については、開催候補日をもとに全国老施協21世紀委員会で調整、確認の上で決定します。

**【産学関係者の募集について】**

この度、産学関係者より参加者を募集する理由は、以下の通りです。

①研修プログラムを通じた多分野の交流の機会（地元での多様なチャンネルの増加）

※介護・福祉分野に限らず、例えば理工系、工業系の学校（大学院、大学、短期大学、専門学校、高等専門学校など）及びその学生や地元企業、産業支援機関やその部門など、つながりたい、つながっておきたい関係者（介護福祉系学校、介護ソフトや介護ロボット企業なども、もちろんOKです。）

②集合知の拡大によるアイデアの創出

※不明瞭な時代、課題解決の糸口が見えない課題をブレイクスルーしていくアイデアの創出

なお、当該趣旨から、前記参加者は開催県に偏らず、各県より幅広く参加いただくことが望ましい。

③産学関係者に当該研修プログラムであるシステム思考×デザイン思考を体験いただくことにより、介護福祉分野について理解を深める機会とするとともに、現場が求める機器等の開発促進につながることを期待します。

**【開催案内の作成～発送、参加申込の取りまとめ他】**

(１)前項における協議の結果を受けて、実行委員会は骨子をもとに開催要項を作成します。

開催趣旨やプログラムについては骨子のものをご使用ください。

（２）概要の確定を受けて、実行委員会はブロック委員、全国老施協事務局との打ち合わせにより「参加申込書」を作成します。

（３）開催要項・参加申込書が完成した時点で、実行委員会はブロック委員、全国老施協事務局と打ち合わせの上、ブロック内の全２１世紀委員に、案内送付を行います。

➀21世紀委員会設置県におかれましては、20名までご参加いただくことができます。

➁委員会を設置いただいていない県においてもご参加いただくことができます。（5名まで）

（４）申込の取りまとめについては、ブロック委員、全国老施協事務局と打ち合わせの上、実行委員会が行います。

※申込時に得た個人情報（氏名、年齢、住所、連絡先等）については個人情報保護法に基づき、カントリーミーティング運営業務（参加者への連絡、参加券の送付、参加者名簿の作成）に限った使用を厳守します。

**【ワークショップの運営について】**

(１)分科会では、ＺｏｏｍとＭｉｒｏを用い、履修内容のとおり進行します。音声のハウリングを避けるため、参加者はそれぞれの所属先より参加いただくようお願いします。

(２)グループ分けをします。Ｚｏｏｍのブレイクアウトルームの割振りについては、参加者の申込状況（人数）や職種等により各ブロックにおいて事前に調整します。

※グループ分けは、1グループ６名～８名程度とし、グループワークとディスカッションにより、システム・デザイン思考の習得と積極的な意見交換を促します。各ブレイクアウトルームの配席については、様々な意見に触れ合うことを前提に「同一県、同一法人・施設は極力同じにしない」など調整します。

➀進行は講師が行い、各ブレイクアウトルームにはチーフティーチングアシスタント【ｃＴＡ】（全国老施協２１世紀委員、各グループにはグループティーチングアシスタント【ｇＴＡ】（開催ブロックの２１世紀委員長等）を配置します。開催ブロックの２１世紀委員長等のｇＴＡは希望者といたしますが、積極的に協力をお願いします。

➁グループワークの進行については、参加者の積極的なディスカッションの場となるよう、グループごとにｇＴＡを中心として、都度役割を決めていきます。

（３）ｃＴＡは、グループワークの進行把握、適宜アドバイスを行う等、講師とｇＴＡの間に入り、グループワークのサポート的役割を担います。

gＴＡは、グループワークの進行を担い、参加者同士が積極的な意見交換ができるよう配慮します。

(4)アイデア発表については、各グループより発表いただきます。その後、ｇＴＡ、ファシリテーターによる感想、講師から総評を行います。

**【情報交換会】**

今回設定はありません。

**【カントリーミーティング終了後の手続きについて】**

(1)カントリーミーティング開催終了後、実行委員会により速報を作成の上、全国老施協事務局にメールにて送付します。

 (2)参加者事後アンケートにご協力ください。（参加者には別途、ご案内します。）

(3)開催経費・助成金について、下記をもとに精算します。

➀開催ブロック老施協は以下の経費を参加費等によりまかないます。

・資料送信費（資料等の印刷、送信）

・会議費等

➁全国老施協は、以下の経費を負担します。

・開催助成金（1開催あたり１０万円（1ブロックあたり5万円）を限度とする）

＊全国老施協助成金を除いた収支が-5万円であった場合、5万円を助成

＊全国老施協助成金を除いた収支が-10万円であった場合、5万円を助成

※カントリーミーティング開催終了後に、決算書（見込可）を添えて、本会宛にご請求ください。